

〒085-8505 鉏路市黒金町 7 丁目 5 番地
鉏路市総合政策部市民協働推進課

TEL 31-4504 Fax 23-5220

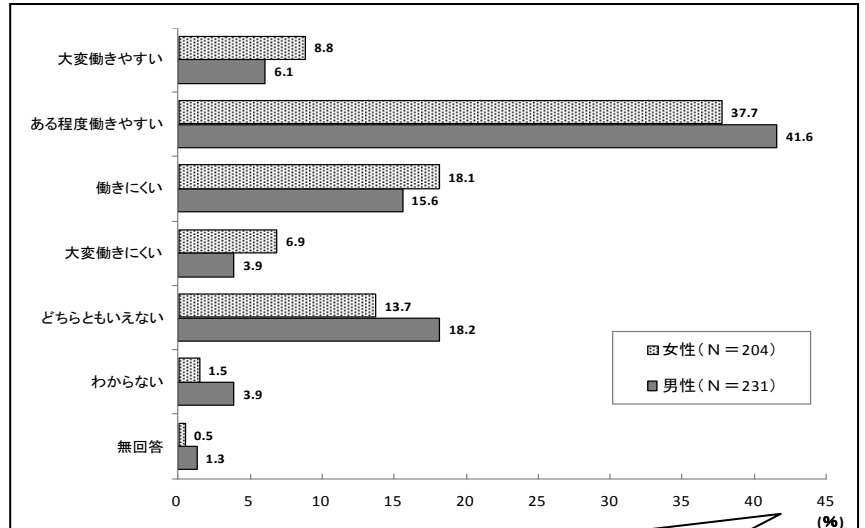


男女平等に関する市民意識・実態調査の報告

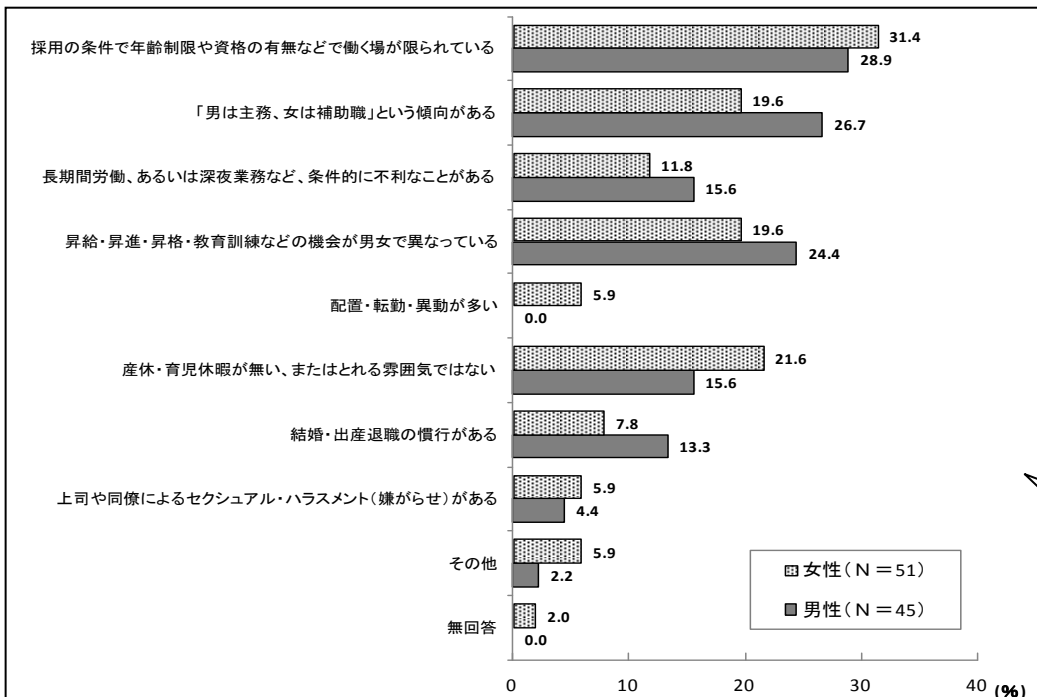
平成 24 年 10 月に実施した標記調査につきまして、調査項目ごとに結果概要をお知らせします。
今回は、「就労について(1)」です。

【女性の就労について】

- 全体で「働いている」と答えた人の割合は 56.0%で、働いている理由としては、男女ともに「生計を維持するため」が最も高い割合となっていました。
- 働いている人に、女性が働きやすい環境にあるか聞いたところ、「大変働きやすい」「ある程度働きやすい」が女性 53.4%、男性 52.6%となっており、「働きにくい」「大変働きにくい」が女性 28.7%、男性 25.1%と男女とも同じ傾向となっています。前回の調査では、「大変働きやすい」「働きやすい」と回答した人は男性が 35.1%、女性が 19.4%と男女でかなりの差がある結果となっていました。
- 働きやすい理由としては、女性では「家族の理解・協力が得やすい」21.2%、「労働条件が整っている」18.6%、「能力発揮の場が多い」12.8%の順に高くなっています。男性では「男は仕事、女は家庭という社会通念が変化してきている」18.9%、「働き場が多い」17.6%、「労働条件が整っている」16.7%の順になっています。
- 働きにくい理由については、男女ともに「採用の条件で年齢制限や資格の有無などで働く場が限られている」女性 23.9%・男性 22.0%が最も高い割合となっており、次いで女性は「産休・育児休暇が無い、またはとれる雰囲気ではない」16.4%、「男は主務、女は補助職という傾向がある」14.9%、「昇給・昇進・昇格・教育訓練などの機会が男女で異なっている」14.9%の順であり、男性は「男は主務、女は補助職という傾向がある」20.3%、「昇給・昇進・昇格・教育訓練などの機会が男女で異なっている」18.6%の順に高く、男女ともほぼ同じ傾向となっています。ただし、女性が 2 番目に「産休・育児休暇が無い、またはとれる雰囲気ではない」を挙げているのに対して、男性は 4 番目 11.9%と女性より 5 ポイント低い結果となっています。



問（働いている方に）今の社会は女性が働きやすい状態（環境）にあると思いますか。



問（働きにくいと答えた方に）「働きにくい」理由（複数回答）。

※報告書を希望される方は市役所市民協働推進課（TEL 31-4504）まで

日本女性会議2014札幌 参加報告



釧路市男女平等参画審議会委員、市の担当者が札幌で開催された日本女性会議に参加しました。

【期間】平成26年10月16日～18日（移動日を含む）

【会場】札幌コンベンションセンター

【報告概要】

- 17日(金) 基調講演「日本の男女共同参画施策の現状と今後の課題について」
分科会（各自で選択して参加）
「女性の活躍推進」、「女性に対するあらゆる暴力の根絶」、「ワーク・ライフ・バランス」、「国際社会における男女共同参画」、「経済的自立・起業」、「防災における男女共同参画」、「男女共同参画の視点に立った意識改革」、「暴力根絶を目指した啓発」
- 18日(土) 特別講演「100歳まで弾くからね！～母として、コンサートマスターとして～」
記念講演「強くやさしい社会を実現するために～次世代へのメッセージ～」
シンポジウム「今、ここから始まる。」
⇒演者：林美枝子（日本医療大学保健学部教授）、柿沼トミ子（全国地域婦人団体連絡協議会会長）、秀嶋ゆかり（札幌弁護士会所属弁護士）、長沼昭夫（株式会社代表取締役社長） 【順不同・敬称略】

平成26年度釧路市道外派遣研修事業 参加報告 ～中村博明さん、山本裕子さん～

【派遣期間】平成26年8月28日～31日（移動日を含む）

【派遣先】国立女性教育会館「平成26年度男女共同参画フォーラム～ひとりひとりの活躍が社会を創る～」

【報告概要】

★参加したワークショップ等 ※WS＝ワークショップの略

- 29日(金) 女性リーダー会議「女性リーダーが社会をどう変えるか」
WS「映画『ベアテの贈り物』上映会」
WS「行列ができる講座の企画と思わず手に取るチラシの作り方」
国立女性教育会館女性アーカイブセンター企画展示「映画と歩む」連動企画～松井久子
監督トークとともに～
- 30日(土) WS「佐賀大学生と恋愛～結婚と恋愛の関係～」
WS「めざせ！202030～政策決定の場にもっと女性を～」
特別講演「女性の活躍促進と社会の活性化」
WS「地域における男女共同参画の推進～実践事例に学ぶ～」
WS「プレイバックシアターでみる、私たちのワーク・ライフ・バランス」
- 31日(日) WS「寸劇『仕事と子育て・介護・お墓アラカルト』」
WS「フェミニスト・キャリアカウンセリングの提案～中年期以降の女性のキャリア再
形成支援プログラム～」



★研修を終えて・・・

今回、道外派遣研修事業に参加し、一市民として市の素晴らしい事業に感謝し、こういった事業をきっかけに市と市民が、そして男女が共同で共同参画社会を実現していけることを期待いたします。

(中村博明さん)

参加者の年齢の幅の広さや人の多さに驚きました。人の信頼を得るには「リラックスした自信」が必要であり、女性特有の遠慮がち、謙虚の心を緩め頑張してほしいとの思いは全体的に共通であったように思います。何かの形でこの経験を生かせたらと思っています。

(山本裕子さん)